

【記入例】

様式第4のト (第4条、第5条関係)

移動タンク貯蔵所構造設備明細書

車名及び型式		① ●●自動車 ABC-1234D 単一車形式						
製造事業所名		② ●●自動車工業株式会社						
③ 危険物	類別	第4類		⑧ 側面枱	当て板	材質記号	SS400	
	品名	第1、第2石油類				引張り強さ	400N/mm ²	
	化学名	ガソリン、軽油、灯油				板厚	3.2 mm	
	比重	0.75, 0.85, 0.80		⑨ 防護枱	材料	材質記号	SS400	
断面形状	楕円形		引張り強さ			400N/mm ²		
④ タ ン ク	内 測 寸 法	長さ	4,800 mm		⑩ 閉鎖装置	自動閉鎖装置		有・無
		幅	2,290 mm			手動閉鎖装置		有・無
		高さ	1,300 mm			⑪ 吐出口の位置		左 右 後
最大容量		10,000ℓ		⑫ レバーの位置		左 右 後		
緒 元	タンク室の容量		1・2・3室 2,000ℓ 4室 4,000ℓ		⑬ 底弁損傷防止方法		配管の屈曲	
	材 料	材質記号	SS400		⑭ 接地導線		有 (長さ 10 m) ・ 無	
		引張り強さ	400N/mm ²		⑮ 緊締金具 (すみ金具)	有・無		
	板 厚	胴板	3.2 mm					
鏡板		3.2 mm						
⑤ 防 波 板	材 料	材質記号	SPHC		U ボ ルト	材質記号	/	
		引張り強さ	270N/mm ²			引張り強さ		
板	板厚	1.6 mm		⑯ 箱枱	材 料	材質記号		
	面積比 防波板面積 タンク断面積 × 100	1・2・3室 50.8% 4室 53.6%				引張り強さ	N/mm ²	
タンクの最大常用圧力		⑥ 20kPa		⑰ 消 火 器	薬剤の種類		粉末	
⑦ 安 装 置	作動圧力		20 < P < 24kPa		薬剤量		3.5 kg	kg
	有効吹き出し面積		全室 22.5 cm ²		⑱ 可燃性蒸気回収設備		有・無	
⑧ 側 面 枱	材 料	材質記号	SS400		⑲ 給油設備		有 (航空機・船舶) ・ 無	
		引張り強さ	400N/mm ²		備 考	⑳		
	板厚	3.2 mm						
	取付角度	37°						
接地角度	78°							

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

移動タンク貯蔵所構造設備明細書記入要領

※記入方法

- (1) 各欄の該当しない部分各欄の該当しない部分は、「/」、「—」、「なし」等を記入し、該当する部分がないことを明確にする。
- (2) 各欄において記入事項が多い場合は、「別紙のとおり」とし、別紙に詳細を記入する。

- ① 「車名及び型式」欄は、車両製造メーカー名、車検証に記載されている型式及び単一車形式、被けん引車形式の別を記入する。
- ② 「製造事業所名」欄は、車両を用いてタンク等をぎ装して移動タンク貯蔵所を製造した事業所名を記入する。
- ③ 「危険物」欄は、移動タンク貯蔵所に貯蔵が予定されるすべての危険物について記入する。通常化学名が用いられない物品の場合は、通称名を記入する。
- ④ 「タンクの諸元」欄は、それぞれ該当する箇所を記入する。
- ⑤ 「防波板」欄は、タンク室に設置が必要な場合に記入する。
- ⑥ 「タンクの最大常用圧力」欄は、その数値を記入する。
- ⑦ 「安全装置」欄は、設置するすべての安全装置が同じ性能である場合は、まとめて記入する。
- ⑧ 「側面枠」欄は、それぞれ該当する箇所を記入する。
- ⑨ 「防護枠」欄は、それぞれ該当する箇所を記入する。
- ⑩ 「閉鎖装置」欄は、該当する欄の「有」・「無」のいずれかを○で囲むよう記入する。
- ⑪ 「吐出口の位置」欄は、該当する項目を○で囲むよう記入する。
- ⑫ 「レバーの位置」欄は、緊急レバーの位置について該当する項目を○で囲むよう記入する。
- ⑬ 「底弁損傷防止方法」欄は、配管の屈曲、フレキシブルチューブ等移動タンク貯蔵所に用いられた措置について記入する。
- ⑭ 「接地導線」欄は、「有」・「無」のいずれかを○で囲むよう記入し、「有」の場合は、括弧内に接地導線の長さを記入する。
- ⑮ 「緊結装置」欄は、積載式移動タンク貯蔵所の場合に該当する欄を記入する。
- ⑯ 「箱枠」欄は、タンクコンテナ等の箱枠を有するタンクの場合に該当する欄を記入する。
- ⑰ 「消火器」欄は、次のように記入する。
 - ア 「薬剤の種類」は、消火薬剤の種類を「粉末」、「強化液」、「二酸化炭素」等と記入する。
 - イ 「薬剤量」は、設置する消火器の薬剤量を薬剤の種類ごとに記入する。この場合、同種類の薬剤で消火器の消火薬剤量が異なるときは、それぞれ別の欄にその量を記入する。
 - ウ 「個数」は、設置する消火器の個数を記入する。
- ⑱ 「可燃性蒸気回収設備」は、「有」・「無」のいずれかを○で囲むよう記入する。
- ⑲ 「給油設備」は、「有」・「無」のいずれかを○で囲むよう記入し、「有」の場合は、括弧内の該当しないものを二重線で抹消する。
- ⑳ 「備考欄」は、特殊な移動タンク貯蔵所である場合等に概要を記入する。

《例》加熱設備有り、冷却装置有り